

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 高知県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梶原町	国保梶原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業 団	高知医療センター	11

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
病院名 あき総合病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,771 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	175	84.8	80.9	82.4
療養	-	-	-	-
結核	5	0.8	0.8	1.0
精神	90	92.6	88.7	86.1
感染症	-	-	-	-
計	270	85.8	82.0	82.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	17.8	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	691,527	
決算規模(千円)	483,483,446	
標準財政規模(千円)	271,082,248	
財政力指数	0.26114	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	176.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,406,870			
1 経常収益	6,395,530			
(1) 医業収益	4,507,639			
(うち修正医業収益)	4,330,212			
入院収益	3,042,482			
外来収益	1,221,519			
診療収入計	4,264,001			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	243,638			
(うち他会計負担金)	177,427			
(2) 医業外収益	1,887,891			
(うち国・都道府県補助金)	175,623			
(うち他会計補助・負担金)	1,377,532			
(うち長期前受金戻入)	314,686			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,340			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,364,435			
2 経常費用	6,336,912			
(1) 医業費用	6,004,188			
職員給与費	3,493,214	77.5	59.4	63.7
材料費	723,512	16.1	26.1	21.0
(うち薬品費)	366,440	8.1	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	357,050	7.9	11.8	10.1
減価償却費	417,285	9.3	8.7	9.7
経費	1,343,917	29.8	22.1	28.9
(うち委託料)	866,715	19.2	11.7	13.6
研究研修費	20,142			
資産減耗費	6,118			
(2) 医業外費用	332,724			
(うち支払利息)	75,407	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	27,523			
損益	58,618			
純損益	42,435			
累積欠損金	8,497,846			
経常収支比率	100.9		103.3	101.8
医業収支比率	75.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	72.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	24.3		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	76.4		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,514,693
1 固定資産	18,171,051
(1) 有形固定資産	17,382,558
(2) 無形固定資産	11,315
(3) 投資その他の資産	777,178
2 流動資産	6,343,642
(1) 現金及び預金	3,413,353
(2) 未収金及び未収収益	2,746,159
(3) 貸倒引当金()	1,702
(4) 貯蔵品	185,832
3 繰延資産	-
負債合計	26,739,445
1 固定負債	18,431,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,196,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,386,513
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	3,840,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,478,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	469,273
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,816,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,468,072
(1) 長期前受金	14,912,655
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,444,583
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,224,752
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,298,748
(1) 資本剰余金	1,282,064
(2) 利益剰余金	-12,580,812
負債・資本合計	24,514,693
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,224,752
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,509,445	1,554,959
資本勘定繰入	259,692	358,472
計	1,769,137	1,913,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
幡多けんみん病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透1未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,023 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	291	72.1	74.9	68.2
療養	-	-	-	-
結核	28	-	0.3	0.5
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	322	65.1	67.7	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	12.5	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	691,527	
決算規模(千円)	483,483,446	
標準財政規模(千円)	271,082,248	
財政力指数	0.26114	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	176.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,137,681			
1 経常収益	9,106,558			
(1) 医業収益	7,057,247			
(うち修正医業収益)	6,897,526			
入院収益	4,799,059			
外来収益	1,961,090			
診療収入計	6,760,149			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	297,098			
(うち他会計負担金)	159,721			
(2) 医業外収益	2,049,311			
(うち国・都道府県補助金)	528,131			
(うち他会計補助・負担金)	1,127,963			
(うち長期前受金戻入)	368,405			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,123			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,993,663			
2 経常費用	8,946,676			
(1) 医業費用	8,452,414			
職員給与費	4,526,244	64.1	59.4	59.0
材料費	1,675,875	23.7	26.1	25.6
(うち薬品費)	959,154	13.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	710,015	10.1	11.8	11.2
減価償却費	498,503	7.1	8.7	8.6
経費	1,666,165	23.6	22.1	21.3
(うち委託料)	1,036,489	14.7	11.7	11.6
研究研修費	26,861			
資産減耗費	58,766			
(2) 医業外費用	494,262			
(うち支払利息)	108,896	1.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	46,987			
経常損益	159,882			
純損益	144,018			
累積欠損金	4,082,966			
経常収支比率	101.8		103.3	104.8
医業収支比率	83.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	14.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	87.4		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,514,693
1 固定資産	18,171,051
(1) 有形固定資産	17,382,558
(2) 無形固定資産	11,315
(3) 投資その他の資産	777,178
2 流動資産	6,343,642
(1) 現金及び預金	3,413,353
(2) 未収金及び未収収益	2,746,159
(3) 貸倒引当金()	1,702
(4) 貯蔵品	185,832
3 繰延資産	-
負債合計	26,739,445
1 固定負債	18,431,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,196,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,386,513
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,840,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,478,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	469,273
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,816,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,468,072
(1) 長期前受金	14,912,655
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,444,583
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,224,752
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,298,748
(1) 資本剰余金	1,282,064
(2) 利益剰余金	-12,580,812
負債・資本合計	24,514,693
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,224,752
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,230,920	1,287,684
資本勘定繰入	587,869	616,867
計	1,818,789	1,904,551

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	土佐市		
病院名	土佐市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,146 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	30	指定病院の状況	救臨 災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	150	58.6	69.6	77.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	58.6	69.6	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	11.4	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	25,732	
決算規模(千円)	15,997,911	
標準財政規模(千円)	7,949,053	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	74.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,610,243			
1 経常収益	4,610,243			
(1) 医業収益	2,965,242			
(うち修正医業収益)	2,881,930			
入院収益	1,530,090			
外来収益	1,260,458			
診療収入計	2,790,548			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	174,694			
(うち他会計負担金)	83,312			
(2) 医業外収益	1,645,001			
(うち国・都道府県補助金)	1,394,098			
(うち他会計補助・負担金)	102,406			
(うち長期前受金戻入)	125,475			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,778,066			
2 経常費用	3,777,254			
(1) 医業費用	3,724,476			
職員給与費	2,271,097	76.6	59.4	67.0
材料費	464,285	15.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	190,750	6.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	273,535	9.2	11.8	9.4
減価償却費	282,484	9.5	8.7	10.2
経費	685,097	23.1	22.1	28.8
(うち委託料)	254,496	8.6	11.7	13.2
研究研修費	5,824			
資産減耗費	15,689			
(2) 医業外費用	52,778			
(うち支払利息)	46,226	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	812			
経常損益	832,989			
純損益	832,177			
累積欠損金	-			
経常収支比率	122.1		103.3	104.5
医業収支比率	79.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	117.1		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,140,213
1 固定資産	3,896,849
(1) 有形固定資産	3,885,089
(2) 無形固定資産	661
(3) 投資その他の資産	11,099
2 流動資産	5,243,364
(1) 現金及び預金	3,311,613
(2) 未収金及び未収収益	1,903,350
(3) 貸倒引当金()	523
(4) 貯蔵品	27,924
3 繰延資産	-
負債合計	4,209,712
1 固定負債	3,442,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,514,920
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	927,139
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	661,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,557
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	113,318
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	190,982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	105,796
(1) 長期前受金	1,141,024
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,035,228
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,930,501
1 資本金	2,970,723
2 剰余金	1,959,778
(1) 資本金剰余金	3,904
(2) 利益剰余金	1,955,874
負債・資本合計	9,140,213
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,718	185,718
資本勘定繰入	162,274	162,274
計	347,992	347,992

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	四万十市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,392 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	74.4	75.9	48.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.4	75.9	48.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	19.3	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	32,694	
決算規模(千円)	24,178,668	
標準財政規模(千円)	12,254,244	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	67.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,557,629			
1 経常収益	1,557,499			
(1) 医業収益	1,188,742			
(うち修正医業収益)	1,188,742			
入院収益	535,317			
外来収益	622,235			
診療収入計	1,157,552			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	31,190			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	368,757			
(うち国・都道府県補助金)	181,582			
(うち他会計補助・負担金)	139,023			
(うち長期前受金戻入)	41,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	130			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,565,929			
2 経常費用	1,565,875			
(1) 医業費用	1,504,280			
職員給与費	844,004	71.0	59.4	76.5
材料費	206,872	17.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	119,408	10.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,659	7.3	11.8	6.4
減価償却費	114,890	9.7	8.7	11.5
経費	335,704	28.2	22.1	32.6
(うち委託料)	182,893	15.4	11.7	14.8
研究研修費	1,388			
資産減耗費	1,422			
(2) 医業外費用	61,595			
(うち支払利息)	9,883	0.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	54			
損益	-8,376			
純損益	-8,300			
累積欠損金	2,415,709			
経常収支比率	99.5		103.3	101.5
医業収支比率	79.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	79.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.6		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,792,327
1 固定資産	1,352,070
(1) 有形固定資産	1,351,435
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	440,257
(1) 現金及び預金	56,447
(2) 未収金及び未収収益	389,523
(3) 貸倒引当金()	30,735
(4) 貯蔵品	25,022
3 繰延資産	-
負債合計	1,948,732
1 固定負債	971,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	393,161
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	578,312
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	474,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,785
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	86,604
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	65,614
(9) 前受金及び前受収益	226
3 繰延収益	502,902
(1) 長期前受金	1,204,539
(2) 長期前受金収益化累計額()	701,637
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-156,405
1 資本金	2,255,696
2 剰余金	-2,412,101
(1) 資本剰余金	3,608
(2) 利益剰余金	-2,415,709
負債・資本合計	1,792,327
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	156,405
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,676	139,023
資本勘定繰入	56,739	52,641
計	180,415	191,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	56,321	4.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	203.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	本山町				
病院名	嶺北中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,235 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	71.6	70.2	66.7
療養	44	76.7	79.1	76.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	73.9	74.1	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	19.0	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,261	
決算規模(千円)	5,349,290	
標準財政規模(千円)	2,618,738	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	51.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,744,929			
1 経常収益	1,744,929			
(1) 医業収益	1,241,748			
(うち修正医業収益)	1,203,737			
入院収益	700,864			
外来収益	414,389			
診療収入計	1,115,253			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	126,495			
(うち他会計負担金)	38,011			
(2) 医業外収益	503,181			
(うち国・都道府県補助金)	116,454			
(うち他会計補助・負担金)	259,242			
(うち長期前受金戻入)	92,444			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,644,301			
2 経常費用	1,602,945			
(1) 医業費用	1,512,774			
職員給与費	931,805	75.0	59.4	76.5
材料費	144,683	11.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	50,229	4.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,583	7.1	11.8	6.4
減価償却費	130,061	10.5	8.7	11.5
経費	297,503	24.0	22.1	32.6
(うち委託料)	141,458	11.4	11.7	14.8
研究研修費	8,722			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	90,171			
(うち支払利息)	24,264	2.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	41,356			
損益	141,984			
純損益	100,628			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.9		103.3	101.5
医業収支比率	82.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	79.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	17.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,527,005
1 固定資産	3,001,308
(1) 有形固定資産	2,971,011
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	30,297
2 流動資産	525,697
(1) 現金及び預金	82,956
(2) 未収金及び未収収益	428,768
(3) 貸倒引当金()	2,359
(4) 貯蔵品	16,332
3 繰延資産	-
負債合計	2,702,967
1 固定負債	1,261,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,209,333
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,670
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	312,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,600
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	54,499
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,129,158
(1) 長期前受金	1,954,262
(2) 長期前受金収益化累計額()	825,104
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	824,038
1 資本金	629,170
2 剰余金	194,868
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	194,868
負債・資本合計	3,527,005
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	296,730	297,253
資本勘定繰入	125,993	135,913
計	422,723	433,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	いの町		
病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,101 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救 災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	83.1	74.4	65.9
療養	40	84.5	83.2	82.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	83.6	77.9	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	20.2	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	21,374	
決算規模(千円)	14,300,723	
標準財政規模(千円)	8,332,088	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,931,236			
1 経常収益	1,931,236			
(1) 医業収益	1,182,976			
(うち修正医業収益)	1,136,500			
入院収益	772,456			
外来収益	302,940			
診療収入計	1,075,396			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,580			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	748,260			
(うち国・都道府県補助金)	54,446			
(うち他会計補助・負担金)	189,799			
(うち長期前受金戻入)	76,505			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,981,397			
2 経常費用	1,981,397			
(1) 医業費用	1,450,806			
職員給与費	877,503	74.2	59.4	67.0
材料費	138,090	11.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	54,658	4.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,570	6.8	11.8	9.4
減価償却費	118,651	10.0	8.7	10.2
経費	314,886	26.6	22.1	28.8
(うち委託料)	188,073	15.9	11.7	13.2
研究研修費	876			
資産減耗費	800			
(2) 医業外費用	530,591			
(うち支払利息)	21,305	1.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-50,161			
純損失	-50,161			
累積欠損金	1,781,385			
経常収支比率	97.5		103.3	104.5
医業収支比率	81.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	85.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,017,879
1 固定資産	2,555,499
(1) 有形固定資産	2,484,176
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	70,575
2 流動資産	462,380
(1) 現金及び預金	125,047
(2) 未収金及び未収収益	321,834
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	15,499
3 繰延資産	-
負債合計	2,092,987
1 固定負債	1,281,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,110,201
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,608
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	235,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,782
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	80,287
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,875
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	575,927
(1) 長期前受金	1,228,687
(2) 長期前受金収益化累計額()	652,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	924,892
1 資本金	2,625,859
2 剰余金	-1,700,967
(1) 資本剰余金	45,318
(2) 利益剰余金	-1,746,285
負債・資本合計	3,017,879
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	235,039	236,275
資本勘定繰入	44,635	47,172
計	279,674	283,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	佐川町				
病院名	高北国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,215 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	79.0	85.4	82.4
療養	42	87.8	88.1	92.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	82.7	86.5	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	22.6	24.5

設立団体の状況		
人口(人)	12,323	
決算規模(千円)	8,995,326	
標準財政規模(千円)	4,262,536	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,808,439			
1 経常収益	1,808,193			
(1) 医業収益	1,365,915			
(うち修正医業収益)	1,317,615			
入院収益	779,213			
外来収益	492,883			
診療収入計	1,272,096			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,819			
(うち他会計負担金)	48,300			
(2) 医業外収益	442,278			
(うち国・都道府県補助金)	92,765			
(うち他会計補助・負担金)	119,783			
(うち長期前受金戻入)	55,535			
(うち資本費繰入収益)	27,430			
(3) 特別利益	246			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,736,302			
2 経常費用	1,736,199			
(1) 医業費用	1,550,190			
職員給与費	898,541	65.8	59.4	76.5
材料費	180,384	13.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	73,056	5.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	97,536	7.1	11.8	6.4
減価償却費	154,624	11.3	8.7	11.5
経費	314,192	23.0	22.1	32.6
(うち委託料)	163,338	12.0	11.7	14.8
研究研修費	1,524			
資産減耗費	925			
(2) 医業外費用	186,009			
(うち支払利息)	22,519	1.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	103			
経常損益	71,994			
純損益	72,137			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		103.3	101.5
医業収支比率	88.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	85.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,047,056
1 固定資産	1,937,234
(1) 有形固定資産	1,894,647
(2) 無形固定資産	616
(3) 投資その他の資産	41,971
2 流動資産	1,109,822
(1) 現金及び預金	763,279
(2) 未収金及び未収収益	329,889
(3) 貸倒引当金()	146
(4) 貯蔵品	15,800
3 繰延資産	-
負債合計	1,705,382
1 固定負債	1,150,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,138,151
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	11,880
2 流動負債	308,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,641
(6) リース債務	2,970
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	75,224
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	246,913
(1) 長期前受金	991,459
(2) 長期前受金収益化累計額()	744,546
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,341,674
1 資本金	784,254
2 剰余金	557,420
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	557,420
負債・資本合計	3,047,056
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,341	168,083
資本勘定繰入	99,045	104,039
計	264,386	272,122

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	梶原町				
病院名	国保梶原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,884 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	51.4	45.9	50.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	51.4	45.9	50.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	15.9	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,307	
決算規模(千円)	6,690,058	
標準財政規模(千円)	3,148,667	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	85.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	517,478			
1 経常収益	496,628			
(1) 医業収益	379,890			
(うち修正医業収益)	336,020			
入院収益	128,459			
外来収益	173,788			
診療収入計	302,247			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	77,643			
(うち他会計負担金)	43,870			
(2) 医業外収益	116,738			
(うち国・都道府県補助金)	2,262			
(うち他会計補助・負担金)	106,490			
(うち長期前受金戻入)	3,524			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	555,582			
2 経常費用	555,582			
(1) 医業費用	536,887			
職員給与費	352,255	92.7	59.4	87.7
材料費	43,814	11.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	21,320	5.6	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,157	4.8	11.8	5.9
減価償却費	24,431	6.4	8.7	12.7
経費	116,077	30.6	22.1	45.1
(うち委託料)	57,001	15.0	11.7	21.3
研究研修費	246			
資産減耗費	64			
(2) 医業外費用	18,695			
(うち支払利息)	4,784	1.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	-58,954			
純損益	-38,104			
累積欠損金	322,255			
経常収支比率	89.4		103.3	101.7
医業収支比率	70.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	62.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	30.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	29.1		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	62.3		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	797,306
1 固定資産	556,736
(1) 有形固定資産	556,591
(2) 無形固定資産	145
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	240,570
(1) 現金及び預金	184,991
(2) 未収金及び未収収益	51,210
(3) 貸倒引当金()	533
(4) 貯蔵品	4,902
3 繰延資産	-
負債合計	242,897
1 固定負債	74,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,087
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	104,752
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,966
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,685
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	27,932
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	64,058
(1) 長期前受金	197,010
(2) 長期前受金収益化累計額()	132,952
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	554,409
1 資本金	694,059
2 剰余金	-139,650
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-139,650
負債・資本合計	797,306
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	142,483	150,360
資本勘定繰入	33,814	33,814
計	176,297	184,174

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	84.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	大月町				
病院名	国保大月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,103 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	25	58.7	64.2	56.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	58.7	64.2	56.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	17.9	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	4,434	
決算規模(千円)	5,120,157	
標準財政規模(千円)	2,916,122	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	84.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	12.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	548,603			
1 経常収益	548,603			
(1) 医業収益	450,275			
(うち修正医業収益)	391,967			
入院収益	144,140			
外来収益	217,172			
診療収入計	361,312			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,963			
(うち他会計負担金)	58,308			
(2) 医業外収益	98,328			
(うち国・都道府県補助金)	547			
(うち他会計補助・負担金)	52,689			
(うち長期前受金戻入)	17,137			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	520,384			
2 経常費用	520,384			
(1) 医業費用	509,607			
職員給与費	347,067	77.1	59.4	87.7
材料費	47,630	10.6	26.1	13.6
(うち薬品費)	18,460	4.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,450	5.2	11.8	5.9
減価償却費	29,799	6.6	8.7	12.7
経費	83,249	18.5	22.1	45.1
(うち委託料)	51,036	11.3	11.7	21.3
研究研修費	683			
資産減耗費	1,179			
(2) 医業外費用	10,777			
(うち支払利息)	338	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	28,219			
純損益	28,219			
累積欠損金	115,147			
経常収支比率	105.4		103.3	101.7
医業収支比率	88.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	76.9		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	20.2		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	84.1		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	734,439
1 固定資産	295,390
(1) 有形固定資産	295,390
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	439,049
(1) 現金及び預金	340,034
(2) 未収金及び未収収益	94,576
(3) 貸倒引当金()	94,413
(4) 貯蔵品	4,602
3 繰延資産	-
負債合計	189,926
1 固定負債	36,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,606
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	54,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,744
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,107
(1) 長期前受金	220,124
(2) 長期前受金収益化累計額()	121,017
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	544,513
1 資本金	659,660
2 剰余金	-115,147
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-115,147
負債・資本合計	734,439
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107,328	110,997
資本勘定繰入	7,735	14,003
計	115,063	125,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団				
病院名	高知医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	42	指定病院の状況	救急が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	548	70.7	70.4	69.4
療養	-	-	-	-
結核	20	49.4	33.7	21.2
精神	44	36.2	36.7	36.8
感染症	8	0.1	-	1.9
計	620	66.7	65.9	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.9	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,631,794			
1 経常収益	25,462,353			
(1) 医業収益	19,548,919			
(うち修正医業収益)	18,997,926			
入院収益	13,870,178			
外来収益	4,597,316			
診療収入計	18,467,494			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,081,425			
(うち他会計負担金)	550,993			
(2) 医業外収益	5,913,434			
(うち国・都道府県補助金)	2,919,013			
(うち他会計補助・負担金)	1,863,742			
(うち長期前受金戻入)	880,695			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	169,441			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,249,251			
2 経常費用	23,865,643			
(1) 医業費用	22,185,611			
職員給与費	10,586,779	54.2	59.4	52.8
材料費	5,963,917	30.5	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,109,796	15.9	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,854,121	14.6	11.8	13.9
減価償却費	1,561,646	8.0	8.7	7.7
経費	4,007,741	20.5	22.1	18.0
(うち委託料)	2,649,884	13.6	11.7	10.7
研究研修費	44,012			
資産減耗費	21,516			
(2) 医業外費用	1,680,032			
(うち支払利息)	303,796	1.6	1.0	0.9
(3) 特別損失	383,608			
損益	1,596,710			
純損益	1,382,543			
累積欠損金	6,964,577			
経常収支比率	106.7		103.3	102.8
医業収支比率	88.1		85.5	90.3
修正医業収支比率	85.6		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	96.6		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	38,398,452
1 固定資産	23,283,802
(1) 有形固定資産	22,619,370
(2) 無形固定資産	516,695
(3) 投資その他の資産	147,737
2 流動資産	15,114,650
(1) 現金及び預金	5,427,292
(2) 未収金及び未収収益	7,173,674
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	98,179
3 繰延資産	-
負債合計	30,590,732
1 固定負債	22,016,812
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,378,382
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,638,430
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	5,150,896
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,277,215
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	631,816
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,154,712
(9) 前受金及び前受収益	900
3 繰延収益	3,423,024
(1) 長期前受金	14,367,975
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,944,951
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,807,720
1 資本金	13,385,957
2 剰余金	-5,578,237
(1) 資本剰余金	1,386,340
(2) 利益剰余金	-6,964,577
負債・資本合計	38,398,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,395,658	2,414,735
資本勘定繰入	1,469,567	1,482,139
計	3,865,225	3,896,874

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。